

令和2年度 新庄村立新庄中学校 学校評価(自己・学校関係者)評価書

別紙1

評価	A:期待以上	【目標を達成した】
	B:ほぼ期待通り	【おおむね目標を達成した】
	C:やや期待を下回る	【あまり目標を達成できなかった】
	D:改善を要する	【目標を達成できなかった】

自己評価			学校関係者評価		
項目	評価	分析・改善の方策等	項目	評価	自己評価に対する意見等
教育全般	B	肯定的な意見が多くありました。楽しいと答えていない生徒もいるので、日常の声掛けや教育相談などを通して生徒理解に努めます。また、授業や行事を生徒が主体的に活動する場としていきます。	教育全般	B	・子供も大人も「ほっ」とできる場が必要。 ・生徒は、グラウンドなどによく来ている。部屋でこそこそしているよりは健全。 ・これからも不登校傾向の生徒がないように引き続きお願いしたい。
授業改善	B	授業に関してはおおよそ肯定的な意見をいただきました。今後も研究授業やICT機器（プロジェクター・Ipad）の活用研修などを通して授業改善に取り組みます。	学習指導	B	・家庭学習へのステップとして自習時間を設けるのはとても良い実践だと思う。家庭での様子は分かりにくい。具体的な学習の方向付けがあるのはよいと思う。予習などの方向付けをしてみるのもよいのではないかな。個人にあった方向付けをしてあげたらよいと思う。 ・家庭学習の習慣づけは、勉強の仕方が分からないことが原因にあるのではないかな。自学などの経験不足ややっているつもりでもわかっていない子もいる。教科によってやり方を教えていくことが必要。 ・タブレットについては、どこまで電子機器を使い、どの場で話し合いをするのかというガイドラインが必要ではないか。
学習評価	A	学習活動の評価については、来年度は新学習指導要領が全面実施になることをふまえ、今後も観点を生徒・保護者に分かりやすいように説明を行うよう取り組みます。			
家庭学習の充実	B	学習面では家庭学習に課題があります。家庭学習に取り組むための課題（ESP）を計画的に渡して学校で確認をしています。また、学校で自習時間を設け、家庭学習につなげる工夫をしていきます。			
体験的学習	B	「ふるさと新庄学」は、生徒が前年度の活動を元に新庄村に貢献できることを考え、自ら課題を設定し意欲的に取り組んでいます。学校行事を通して、生徒自身が自らの成長を実感できるよう生徒が企画するよう工夫していきます。			
特別活動	A	児童生徒会活動は、小中合同行事や県北スマホサミットへの参加など、今後も生徒が主体的に取り組める活動にしていきます。			
規律・生活習慣	B	肯定的な意見が多くありました。持ち物の整理整頓や授業中の姿勢など、日ごろの生活面の指導もしていきます。挨拶や履物をそろえるなど校外でも実践していけるよう指導していきます。	生徒指導	B	・高校や社会に出てからも、リーダーとして筋を通せる人を育ててほしい。入社試験など筆記試験だけでなくコミュニケーション力が必要になっている。ディスカッションなど話す場が将来的に必要なようになってくるので、そういう機会をもってもらいたい。話し合い活動の充実が必要である。 ・新庄村に誇りをもてる生徒を育成してほしい。 ・新庄村の出身者として、自信をもって生きていける人材を育ててほしい。
共感的な集団作り	A	学級活動や児童生徒会活動では、仲間のやる気を引き出せるような活動を生徒自らが考え実践していけるようにしていきます。また、学年縦割りの班活動でリーダー性の育成に努めます。			
教育相談	B	今後も生徒理解に努めていきます。通常教育相談はもとより、日常の声掛けを行い、生徒のサインを見逃さぬよう努めていきます。家庭との連携も密にし、学校の様子をお知らせしたり、保護者の方の気付かれたことを伺うよう心がけます。			
いじめ防止	B	教育相談やアンケートによる早期発見と組織的な対応に努めていきます。道徳や学級活動を通していじめを許さない学級の雰囲気づくりに努めます。小中学校の「いじめ防止基本方針」をお知らせする機会を持つよう努めます。			
保健・安全指導	A	肯定的な意見が多くありました。健康診断結果の通知や保健だより等で「健康的な体づくり」「安全な生活」などの情報を発信し、啓発を行っています。体育や部活動などを通し体力の向上を図ります。	保健・安全指導	A	・今後も安全に対する啓発をしていただきたい。
家庭・地域連携	B	学校の授業では、地域の方の支援をいただき充実した内容となっています。ふるさと新庄学や職場体験（今年度中止）では、地域に出かけて多くのアドバイスや支援をいただいています。さくら祭り（今年度中止）やグラウンドゴルフを楽しむ会など、地域のみなさまと一緒に活動を行う活動を大切にしていきます。	家庭・地域連携	A	・コロナ禍でできない活動が多くあったが、ふるさと新庄学での村への提言などよく活動ができています。 ・できることを見つけて、よく工夫がされている。 ・あきらめるのではなく、できることを探してよく取り組みをされている。 ・校外にも子供のよりどころとして自由に集まれる場所があってもよいと思う。